

平成 30年 12月 21日

一般社団法人東京都老人保健施設協会
会員各位

一般社団法人東京都老人保健施設協会
会長 平川博之



「外国人介護職の日本語研修を考える」
～介護現場で日本語力をどう向上させるべきか～
セミナーご案内

標記について、学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校 校長 橋本正樹様より当協会会長宛に、別紙のように「外国人介護職の日本語研修を考える」～介護現場で日本語力をどう向上させるべきか～のセミナーご案内について会員施設への周知依頼がありましたのでご案内いたします。

参加希望される方は、直接 学校法人川口学園 早稲田速記医療福祉専門学校宛メールにて是非お申込みください。

申込み/問合せ 学校法人川口学園 早稲田速記医療福祉専門学校 ご担当 TEL: 03-3208-8461 mail: nihongo@wasedasokki.jp
--

平成 30 年 12 月 19 日

一般社団法人東京都老人保健施設協会
会長 平川 博之 様

学校法人 川口学園
早稲田速記医療福祉専門学校
校長 橋本正樹

セミナーご案内のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動につきましてご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、来年4月からの法改正により、介護現場での外国人就労者の受け入れは、避けて通ることのできない課題となっていることと存じます。今回ご案内のセミナーは、そのような現場で外国人職員の教育に不安をお持ちの方々に、問題解決のヒントとなるよう企画をいたしました。別紙にてご案内のごとく、「外国人介護職の日本語研修を考える」をテーマに実施いたします。基調講演とパネルセッションは、早稲田大学大学院日本語教育研究科の教授であり、日越大学（ベトナム国家大学）の日本語教育プログラム総括もお務めの宮崎里司教授にご担当いただきます。

つきましては、年末年始にかけて大変お忙しいと存じますが、このセミナーの開催につきまして、貴協会会員施設へご案内くださいますようお願い申し上げます。

寒さ厳しき折、ますますのご自愛をお祈りいたします。

敬具

外国人介護職の日本語研修を考える

～介護現場で日本語力をどう向上させるべきか～

主催：早稲田速記医療福祉専門学校

外国人労働者の受入れ拡充に向け、新たな在留資格を創設する出入国管理法が、2019年4月よりスタートします。そうした中、就労現場において求められる日本語力をどのように習得させるかが大きな課題となっています。このプログラムでは、介護の日本語教育専門家による基調講演に続き、現場責任者、さらには介護施設の研修担当者が、介護現場での日本語研修はどうあるべきなのかを、パネル形式で議論していきます。

■日時

平成31年1月12日(土)
14:00～17:00
〈受付13:30～13:50〉

■場所

早稲田速記医療福祉専門学校
8階 視聴覚室
東京都豊島区高田 3-11-17
JR・東京メトロ・西武新宿線
「高田馬場」駅より徒歩1分

■参加費：無料

■定員：120名(先着順)

■申込方法

メールに必要事項(氏名・住所・電話番号・所属先)を記入の上送信してください。申し込み確認の返信を1月7日以降にいたします。

✉ nihongo@wasedasokki.jp



■問い合わせ先



学校法人川口学園
早稲田速記医療福祉専門学校
☎ 03-3208-8461 (代表)

■プログラム

14:10～15:00

基調講演

「介護関連在留資格と日本語教育の強化・
充実支援について」

宮崎里司 (早稲田大学大学院日本語教育研究科教授・
日越大学(ベトナム国家大学)日本語教育
プログラム総括)

15:15～17:00

パネルセッション

上野友莉 (龍岡介護老人保健施設・介護福祉士)
植村康生 (国際厚生事業団・国際・研修事業部主任)
神村初美 (東京福祉大学教育学部准教授)
中野玲子 (株式会社テクノスマイル JPA 技能実習
生日本語教育プログラム顧問)
宮崎里司 (モデレーター)

